



「今日の一步が光を招く 確かな一步が未来に続く」

学校だより

令和3年4月6日
東京都立羽村特別支援学校
校長 田口 克己

令和3年度がスタートしました

◇ 校長室より ◇

本校は、昭和49年の開校以来、保護者の皆様や関係諸機関の方々と手を携え合いながら、地域の特別支援教育の推進を担い、今年度48年目を迎えました。令和3年度は、81学級(前年度79学級)となり、児童・生徒数452名、教員数156名(養護教諭2名含む)、経営企画室職員9名(栄養士1名・技能主事3名含む)、管理職3名、非常勤教員3名、マネジメント支援員1名、デジタルサポーター1名でスタートします。

今年度より目指す学校像を『一人一人の可能性を尊重し、生きる力を育てる学校』とし、児童・生徒が、本校の教育活動を通じて自他ともに尊重する心を育て、自分らしく生き、社会の役割の一端を担っていけるように、一人一人の可能性を引き出す指導の充実に努めてまいります。



★目指す学校像の改訂に伴い、『学校教育目標』を再編しました。

① 知識・技能を身に付け、豊かな心と健やかな身体を養い、学び続ける意欲と態度を育てる

【主に教科指導】

知 徳 体 探究心

② 自らの能力を発揮して、新たな課題を解決しようとする態度を育てる

【主に各教科等を合わせた指導】

思考・判断・表現 創造性

③ 社会の中でより良く暮らし働く態度を育み、自分らしく生きる力を育てる

【教育活動全般・キャリア教育】

社会参加・人と一緒に暮らす・社会貢献 幸せの実現

この学校教育目標の具現化キーワードは、過去2年間と同様に「こちよさ」「たしかさ」「わかりやすさ」としました。「こちよさ」とは、自尊感情を育み、自己肯定感を高めることを意識して支援すること。「たしかさ」とは、的確な実態把握と根拠に基づく指導、指導力向上、系統性の改善を図ること。「わかりやすさ」とは、見える化、わかる授業、保護者・関係機関・地域等への情報発信を工夫することです。

さらに、スローガンとして『ひと回り成長する自分へ』を掲げ、3匹のカエル(かんガエル・まちガエル・ふりカエル)を大切にしながら、「失敗できる環境づくり」と「ワクワクする授業づくり」に全校一体となって取り組みます。そして進路指導を「生き方指導」と捉え、人権尊重、個性尊重、自己選択・自己決定の育成に尽力します。

本校の教育活動『【人権・学び・態度】の羽村』への理解が深まり、児童・生徒の自立と社会参加を進めることができ、幸いです。

【この記事はホームページにも記載しております】

♥ 副校長が替わりました(2名とも都立あきる野学園からの異動です)



小・中学部担当
ひらさわ としこ
平澤 登志子副校長

よろしく
お願ひします



高等部担当
にしむら たかのり
西村 孝法副校長

◇ 「新しい羽村」を構築 ◇

学校だよりの裏面に掲載している「職員異動(令和3年4月)について」をご覧ください。

今年度は、副校長2名の異動と主幹教諭8名から6名に変更になりました。教員は22名の異動者と9名の新規採用者が集まり、経営企画室は9名中4名が替わりました。新しい風が吹き込み、良いアイデアや発想が楽しみです。

「引継ぎ」を確実にし、新しい仲間とともに「新しい羽村」を構築します。そこで、今年度のキャッチフレーズは「変化を楽しもう」としました。



今年も屋上緑化エリアのタンポポク群生が力強く広がっています。

◇スクールバス◇ 平成30年度は10台でした。31年度は11台になり、さらに令和3年度からは12台になります。今まで以上に、安全・安心な運行に努めてまいります。

